

提 案 概 要

(アドベンチャープール 指定管理者)

団体名： ACEスギナプラス共同事業体

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>アドベンチャープールは、経年劣化が進んでいることからマーケットサウンディング調査が実施されており、今後、より具体的な施設の方向性が検討されます。今回の公募では、「レジャープール施設として市内外からの集客にて、地域活性化に貢献する」ことに加え「一年通じて小倉南区のにぎわい創出に寄与することを目指す」とされています。本提案は、令和10年度以降の施設の方向性を見越した3年間であることを考慮した理念と基本方針です。</p> <p>〈理念〉アドベンチャープールの『未来を探る』</p> <p>〈基本方針〉【1】これまでの施設運用を「探る」／【2】これからの可能性を「探る」／【3】レジャープールの未来を「探る」／【4】施設の長寿命化を「探る」</p>
<p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <p>当共同事業体は、当施設の指定管理業務において、有効かつ効率的に遂行できる人的基盤、及び財政基盤を保有しています。</p> <p>〈人的基盤〉指定管理に精通した経験者を配置／実績を持つ企業等の連携・協働・協力／有資格者・経験者の充実／人材ネットワークの充実、増加</p> <p>〈財政基盤〉事業規模に合わせた健全経営／類似業務の経験有／取引先の充実（信用の充実）</p>
<p>(3) 実績や経験など</p> <p>共同事業体を構成する2団体は、ともにそれぞれの専門分野で実績有。</p> <p>〈施設管理関係〉市内9施設(エリアをまたぐ施設は1と計上)の指定管理、管理運営委託等</p> <p>〈ソフト事業・公共事業〉市内外からの受託実績多数有。</p>

2 管理運営計画の適確性

<p>【有効性】に関する取組み</p>
<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み</p> <p>理念、基本方針と合致したアクションプランをそれぞれ提案しています。</p> <p>【1】これまでの施設運用を「探る」：利用者ファーストな施設運営／過ごしやすい施設環境づくり／『あったら便利』に貢献する／施設の「これまで」を充実する（その他）</p> <p>【2】これからの可能性を「探る」：プール開園時の「可能性」／営業時間外の「可能性」／年間利活用の「可能性」／その他の「可能性」</p> <p>【3】レジャープールの未来を「探る」：全国事例の調査及び新規コンテンツの調査</p> <p>【4】施設の長寿命化を「探る」：安全・安心な管理運営（予防保全）／運営コストの削減と有効活用／コンプライアンスの徹底</p>

(2) 利用者の満足度
利用者満足度の向上は、指定管理施設の健全運営に不可欠です。利用者一人ひとりに同じ気持ちで接し、公平・平等にホスピタリティをもって毅然と対応していくことが、満足度向上につながると考える。

【効率性】に関する取組み
(1) 指定管理料及び収入
指定管理者として適正な予算執行を行います。これまでの施設運営ノウハウから年間の収支計画に当たっては、無理のない収支計画となっています。自主事業での収益は、管理業務へ還元し、サービス向上という形で、北九州市に貢献します。 〈コスト削減〉業務の内製化を図る／専門業者へ再委託／バランスよい業務タスク 〈収入の最大化〉各アクションプランの推進により来場者数を増加（＝利用料金の増加）／利用者の多様なニーズにより効果的、効率的に対応する／市民サービスの向上を目指す
(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性
本指定管理業務の収支計画作成は、安定した施設運営を実現するため、これまでの施設運営実績や他の指定管理施設の情報収集、当共同事業体保有のノウハウに基づき積算をしています。また、再委託が想定される業務については、適正な地元事業者から見積もりを取得しています。

【適正性】に関する取組み
(1) 管理運営体制など
本指定管理業務は、共同事業体としてのご提案です。共同事業体内の情報共有はもちろんのこと、施設に従事する「従事者」とJV本部との連携は密であり、共有等を迅速かつ的確に行えるよう、DX活用など、環境整備を含めて準備します。（提案書 P62～参照）
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
コンプライアンス（法制度の遵守と対応／内部統制／倫理・行動規範／情報管理）の徹底は、指定管理者として果たすべき義務であり、社会的責任の根幹です。運営団体がコンプライアンスを遵守することで平等利用、安全運営、危機管理が可能となります。
(3) 地域貢献・社会貢献
指定管理業務は、公共サービス向上という大前提に立ち戻ると事業が「地域貢献・社会貢献」に繋がる必要があると考えます。今回の提案は、多数の事業で北九州市に貢献できるものとなっています。高齢者及び障がい者の雇用、労働環境の改善、SDGsへの取り組み、地域活動・交流の促進、多様な事業者等との連携、市民の雇用拡大を通して持続可能な運営に寄与します。

提案額（千円）

令和7年度	50,009千円
令和8年度	50,009千円
令和9年度	50,009千円